

令和7年度高校生議会提案事項の対応方針

番号	議員名	項目名	担当課	質問要旨	答弁要旨	対応方針
1	唐 黎珂 谷本 佳穂 (鳥取西)	・鳥取の過疎化を止めるためにできることについて	交通政策課	長期休業中限定で18歳以下の人が公共交通機関を無料で利用できる制度を設け、普段は行けない地域に気軽に行けるようにすれば、地域の魅力を再発見するきっかけになるのではないかと、思うがいかがか。	若者がチャレンジできるような施策展開を考えていければと考えている。	県では、交通事業者や市町村と連携し、公共交通の利便性を高める交通系ICの導入を進めており、令和8年度は県民への普及・利用促進を図ることとしている。こうした取組の一つとして、高校生や大学生がモニターとして長期休業期間中に交通系ICを使って公共交通を利用し、県内各地域の魅力や公共交通についてSNS等で発信する事業を令和8年度当初予算案において対応する。 ・公共交通活性化推進事業(公共交通利用促進事業) 7, 500千円
			政策統轄課	リモートワークが可能な企業との連携やテレワーク施設の整備を進めるべき。また、男性の育児休暇を義務化するなどの思い切った施策も必要ではないか。	リモートワーク等、インターネット社会の中で、様々な仕事の形を見い出すことは可能であると思っている。そういった可能性を今後も広げたい。	ライフスタイルに合わせた柔軟な働き方ができるリモートワーカーを育成する事業(とっとりリモートワーカー育成・実践事業)などにより、フリーランスとして主に都市部の企業から仕事を受注している方や県内のIT企業等に就職してリモートワーク中心で働いている方など、多様で柔軟な働き方が広がりを見せている。今後も若者や子育て世代が鳥取で暮らし続けられる環境づくりを進めていく。
			協働参画課	これからの時代は「いかに若者目線で、かつ斬新なアイデアで鳥取の魅力を発信していくか」がますます重要になる。鳥取県がこれからも若者にとって「住みたい」「帰ってきたい」と思える地域であり続けるよう、あらゆる分野への視野を広げ、柔軟で実効性のある取組を進めていただきたいがいかがか。	若者の感性で作られた動画はよく見られている。小さな鳥取県だが、供給する情報量が多くなれば鳥取も面白いと実感していただけるかもしれない。そのような事業を、今日の皆さんのお考えを受けて、拡大していきたい。	若者の自由な発想で若者主体の地域づくりを推進し、若者の感性で鳥取の魅力を県内外に発信するグループ「とっとり若者活躍局」ではSNS発信力の向上を目的としたオンライン講座やワークショップを実施し、県内の魅力発信の担い手育成、広報力の強化を図っている。また、活躍局に情報発信グループを新設し、県内で活躍する若者や若者視点で地域の魅力発信を行っていくことや、県が開催する県内就職・定着をテーマにしたイベントを若者の視点を踏まえながら戦略的に統合し内容を充実させることなどを令和8年度当初予算案において対応する。今後も引き続き若者の感性を生かしながら情報発信に取り組んでいく。 ・若者の県内就職・定着応援事業 30, 000千円 ・とっとり若者活躍☆応援事業 26, 960千円

番号	議員名	項目名	担当課	質問要旨	答弁要旨	対応方針
2	田中 幹浩 (八頭)	・これからの鳥取の第二次産業について	立地戦略課	TSMCのような半導体を製造する大型工場を誘致しないのか、誘致の可能性について伺う。	リーマンショックの影響により県内経済・雇用状況が厳しくなったが多様な企業の誘致等によりしっかりと県内経済づくりを行い成果が出ている。今後も、若い人がチャレンジしたくなるような産業振興を行っていく。	今後成長が見込まれる分野などの多様な企業の集積により、県内産業振興を図っていく。
			立地戦略課	第二期鳥取県地域未来投資促進計画の雇用創出目標は440人だが増加させた方が良いと思うがいかがか。	440人の目標値は融資等の支援を受けるための計画の数字で限定的。県は雇用創造1万人プロジェクトなどの大胆な取組の実施により、現在は有効求人倍率が全国平均を上回っている。今後も若い人がチャレンジしたくなるような雇用創造を果たしていく。	今後成長が見込まれる分野などの多様な企業の集積により、若い人がチャレンジしたくなるような雇用創造を行っていく。
3	谷口 貴紀 見生 美優羽 杉本 僚哉 (鳥取東)	・高校生を対象にした選挙参画の意欲向上について	県議会事務局	県議会各党派幹部に高校へお越しいただき、政策に関するプレゼンや質疑応答後に高校生が実際に模擬投票をしてはどうかと考える。選挙に行く若者が少ない現状を変えるため、議員各位に協力をお願いしたいが、県議会議長の所見を伺う。	主権者教育の推進に向けて、引き続き高校生議会や出前講座の取組を行うとともに、ご提案のあった議員の派遣について、学校現場や議会内、関係機関等とも相談し、高校生に政治や選挙に関心を持ってもらえるよう協力してまいりたい。	新たに有権者となる高校生に議会や議員を身近に感じてもらい、主権者としての政治参加意識の醸成を図るため、議員が学校現場を訪問し、高校生と意見交換を行う高校出前講座を令和6年度から実施しているところである。令和6年度は倉吉総合産業高校、令和7年度は鳥取商業高等学校で意見交換を行っており、令和8年度以降も引き続き高校出前講座を実施し、政治参加意識を高める取組を行っていく。

番号	議員名	項目名	担当課	質問要旨	答弁要旨	対応方針
4	圓山 世津子 (米子松蔭)	・高校生・大学生に向けた企業との繋がりをつくるアプリケーション開発について	政策統轄課	希望者がUターンに踏み切ることができるよう、学生から企業に向けてPRする、使いやすいアプリケーションを開発してはどうか、所見を伺う。	「とりふる」について、登録者の求める情報を的確に発信できるようなシステムを再構築する。また、「とっとり就活ナビ」について、学生から企業にPRできる機能を付加する。	ふるさと鳥取アプリ「とりふる」は、ターゲットとする若年層の利用者に鳥取への関心を高めていただき、県内就職や移住に繋がるものとなるよう、LINEアプリとして令和8年2月18日にリニューアルを行った。今後、利用者の属性に応じた情報を届けるとともに、就活情報や地元情報などのコンテンツを充実化していく。「とっとり就活ナビ」は、令和7年10月から企業が学生の自己PRに応じてプッシュ型で会社情報等の発信やスカウトができる機能を追加しており、学生から企業にPRできる機能の充実については令和8年度当初予算案において対応する。 ・若者から選ばれるとっとり創造事業 36,500千円
			子育て王国課	給料が低くても鳥取県で働こうと考える人を増やすため、進路を明確に決める高校生の段階で、可処分所得という言葉の意味や経済的豊かさ等に関する具体的な数字を知る機会が必要だと考えるがいかがか。	県内で就職・生活することの魅力を発信する中高大学向けの出前講座を平成26年から実施してきたが、米子松蔭高校では未実施。過去2回のみと特に実施が少ない西部地区において、未実施校での開催に向け、学校関係者への働きかけを行っていききたい。	出前講座は、令和8年1月27日に米子松蔭高校にて実施済である。 令和8年度も継続予定であり、機会を捉えて個別に周知するなど、引き続き未実施校での開催に向けて働きかけを行っていききたい。 ・若者ライフデザイン構築支援事業(FPIによる出前講座) 396千円
5	上所 志築 (倉吉北)	・学校体育館の空調設備について	教育環境課	公立学校の空調設備の設置に伴う独自の補助金について、どのように考えているか、所見を伺う。	令和6年度に体育館等の空調整備の臨時の国交付金制度が創設されたが、上限額が低いこと、設備導入にあわせ断熱化工事も必要なこと、高等学校が対象外であることなど様々な課題があるため、まずは国に対して制度の緩和や上限額の引き上げを要望するとともに、県としての支援についても検討を進めていきたい。	県立高等学校の体育館空調整備については令和8年度当初予算において対応する。 ・県立学校体育館等空調設置事業 41,462千円

番号	議員名	項目名	担当課	質問要旨	答弁要旨	対応方針
6	佐々木 空大 鈴木 重唯介 岡本 匠生 (日野)	・「食パラ ダイス鳥 取県」に おける県 立高等学 校での学 校給食の 実施につ いて	高等学校 課・体育保 健課	生徒の郷土愛の醸成、将来的な関係人口の増加につながるとともに、食育にも有効と考える県立高校における学校給食の提供について、まずは日野高校で実現させてはどうか、所見を伺う。	例えば月に1度でも、町の小学生中学生が食べている給食を、高校生の皆さんと一緒に食べるような取組ができないか、まずは日野町をはじめとした県立高校魅力化の協定を結んだ5町に対し、機会をとらえ提案をしたい。	協定締結している日野町を令和7年11月10日に訪問し、町内の小学生中学生が食べている給食を、日野高校の生徒と一緒に食べるような取組ができないか提案し、今後の実施に向け調整していただいている。
7	山本 光 菊留 真咲 石賀 葵 (倉吉東)	・教育現 場の改善 に向けた 提案	教育環境課	特別教室や体育館へのエアコン設置は、安心して学び、集中できる環境を整えることや、避難所として使われる施設でもあることを鑑みれば不可欠。 県全体としての早急な対応が必要だと強く感じており、ぜひご検討いただきたいが、県としての考えや今後の方針について伺う。	特別教室は徐々に進めてきているところ。体育館については、国へもしっかり働きかけながら、県として支援ができることを重ね合わせる形で進めていけたらと思っている。	県立高等学校の特別教室の空調について、引き続き整備を進めていく。また、体育館の空調整備については令和8年度当初予算案において対応する。 ・教育施設営繕費（県立高等学校特別教室等エアコン整備事業） 90,346千円 ・県立学校体育館等空調設置事業 41,462千円